

<p>新技術名称</p>	<p>ターミメッシュシステム</p>	<p>登録No. 2035</p>
<p>(特徴)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 防蟻薬剤を一切使用せずに、ステンレスメッシュを使用して物理的にシロアリ予防を行うシステム。 2. 防蟻薬剤のような5年毎の再処理の必要がなく、シックハウスなどの健康阻害の心配がない。 3. 土壌や木部に有害な防蟻薬剤を散布しないので、環境にやさしい工法。 4. 専用の高耐久グレードのステンレスを使い、長期的な耐久性があり。 5. 薬剤の再処理などと比べ、長期的なコストメリットがある。 6. 材料、施工、仕様において厳しい品質管理を行っており、常に高品質を提供できる。 7. 日本、オーストラリア、アメリカ合衆国などで評価を受けている工法。 		
<p>(施工方法)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施工箇所の清掃 2. メッシュ施工 3. 接着モルタル施工 4. 養生 		
<p>(施工単価等)</p>	<p><input type="checkbox"/>1(1). 歩掛りあり (標準) <input type="checkbox"/>1(2). 歩掛りあり (暫定) <input checked="" type="checkbox"/>2. 歩掛りなし</p>	<p>2</p>
<p>設計価格は4500円/m²。ただし、施工仕様や施工部位の数量で増減あり。</p>		
<p>(適用条件)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定部材のみを使用し、認定仕様に従い、弊社の研修を受け合格した認定施工士による施工が必須です。 2. 一般的な仕様では、メッシュ施工は適切に打設されたコンクリートに対して行います。 3. 接着モルタル施工は雨天では行えません。 		

新技術名称	ターミメッシュシステム	登録No. 2035
(施工上・使用上の留意点)		
1. メッシュを取り付けるコンクリート面は、ジャンカ等のない適切なコンクリートとする事。 2. 接着モルタル施工は雨天では不可。また5℃以下での施工も不可。		
(残された課題と今後の開発計画)		
1. さらに長期的な性能の確認。 2. 既存建築物での応用		
(実験等作業状況)		
(社) 日本しろあり対策協会「物理的防蟻材料(工法)の防蟻試験方法」に準ずる。		
(添付資料)		
実験資料等		
防蟻 室内・野外試験 (京都大学生存圏研究所)		
積算資料等		
施工管理基準資料等		
施工マニュアル		
その他		
施工は、ターミメッシュシステム導入研修を修了し合格したものが、施工マニュアルに従い施工する。		
特 許	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有り (番号:) <input type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input type="checkbox"/> 4. 無し	番号 特許番号 2652902
実用新案	<input type="checkbox"/> 1. 有り (番号:) <input type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 無し	番号 新案番号
評価・証明	建設技術評価制度番号	民間開発建設技術の審査証明番号
	証明年月日	証明年月日
	制度等の名称	証明機関
	制度等の名称	制度等の名称
その他の制度等による証明	制度名、番号	制度名、番号
	証明年月日	証明年月日
	証明機関	証明機関
	証明範囲	証明範囲

新技術名称

ターミメッシュシステム

登録No. 2035



配管部分へのメッシュ施工



配管部分への接着モルタル施工



さや管方式の配管へのメッシュ施工



コンクリート打ち継ぎ部分へのメッシュ施工



コンクリート打ち継ぎ部分へのメッシュ施工



コンクリート打ち継ぎ部分への接着モルタル施工